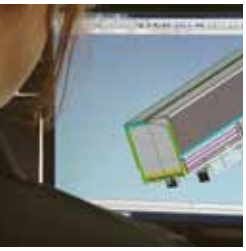
トランテックス

CSR Report 2017

Corporate Social Responsibility



CONTENTS

トップメッセージ …… 01
会社概要 …… 02
事業紹介 …… 04
商品開発 …… 07

お客様
お役立ち活動 …… 09
品質マネジメント …… 11
アフターサービス …… 11

従業員
雇用促進 …… 12
安全衛生 …… 13
人材育成・労使関係 …… 15

環　境
環境マネジメント …… 16
環境パフォーマンスデータ …… 21
省資源・環境リスク低減 …… 22

調　達 …… 23

社会貢献活動 …… 24

コンプライアンス …… 25

コーポレートガバナンス …… 26

トップメッセージ

株式会社トランテックス
代表取締役社長
原田泰彦

トータルサポートでお客様と歩み続けます

トランテックスはトラックボデーを開発・設計・製造・販売するメーカーであるだけではなく、お客様が求める価値を提供し、トランテックスならではのトータルサポートでお客様の事業の発展の一助となり、未来社会の発展に貢献させていただくことを目指しています。

昨今、運送業界でも人手不足が顕著な状況ですが、当社でも微力ながらもサポートができる面があると考えております。商品であるトラックボデーの大・中型ウイングボデーでフルモデルチェンジを行い、剛性を保ちながら、構造変更や材料変更で軽量化を実現するとともに、室内灯にLEDを標準採用しました。お客様にとっては一度により多く、そしてより安全にご使用していただける商品をお届けさせていただきます。アフターサービスでも当社ではお客様により安全に、より長期間商品をお使いいただくために、サービス担当者による定期訪問活動や営業担当者によるお役立ち活動を継続して実施しています。お客様とのフェイス・トゥー・フェイスから得られる情報を的確にキャッチし、最適なサポートをお届けいたします。お客様の困りごとの中ではボデー使用時の安全性確保やボデー故障発生回避のために何かよい方法はないかとの声がよく届いております。そのような声にお応えするために、当社では様々な講習会を開催させていただき、知識や技術の習得をしていただいております。

このようにトランテックスでは、商品開発からアフターサービスまでのトータルサポートを通じて、お客様の頼れるパートナーであり続けます。

お客様のご期待に沿うため社内改革を進めます

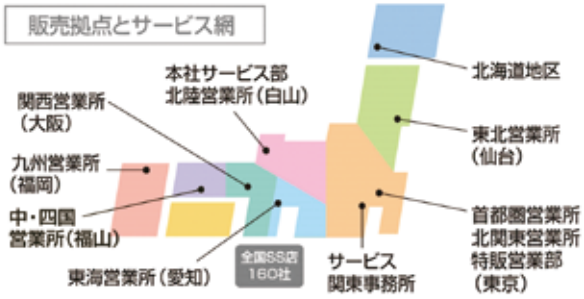
トラックボデー業界には今、旺盛な需要が押し寄せており、トランテックスでもお客様のご期待に沿った対応をすべく、増産体制を構築しています。ウイングタイプはフルモデルチェンジに合わせて開発段階からより効率よく製造できる構造を目指し、また、工場内への設備投資を積極的に行い、ウイングタイプ・バンタイプともに生産能力を向上させております。結果として2016年度はトランテックスとしては初の年間生産台数10,000台越えを実現できました。

2017年度以降もコンプライアンス経営を基盤に、計画的な設備投資と営業・設計・生産のそれぞれの段階での業務効率化を推進し、さらなる生産能力の向上を図ってまいります。

会社概要（2017年3月31日）

株式会社 トランテックス

- 所在地　石川県白山市徳丸町670番地
- 設立　1930年3月
- 創立　2002年10月
- 資本金　11億円
- 従業員数　1,154名
- 製品　トラックボデー、特殊車両



本社・工場全景
- 敷地面積　103,289㎡
- 延床面積　50,011㎡

主要製品

ウイングシリーズ

バンシリーズ

ブロック煽シリーズ

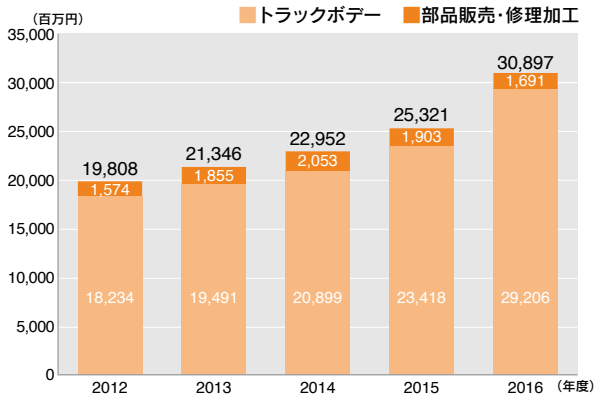
トランテックス基本理念

基本理念は会社の使命と基本方針からなり、私たちトランテックスが社会の中で存在する意義、社会に対して果たすべき責任や方針を明確にしております。

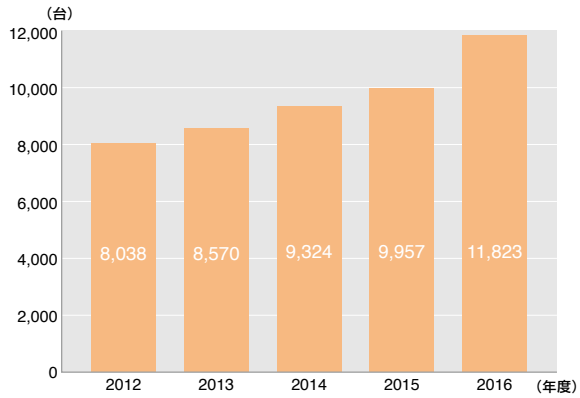
会社使命
- 地球環境に配慮し、輸送文化を創造し、未来社会に貢献する
- お客様に信頼され、頼れるパートナーとして輸送・物流をリードする

基本方針
- 人と地球環境に配慮し、社会とのつながりを大切にする
- 常に技術革新に努め、お客様のお役に立つ商品やサービスを提供する
- 変化を的確に捉え、社会との調和を図り、グローバルな視点で事業展開を行う
- 社員の能力を最大限に発揮し、プロ集団としての総合力を高める

売上高推移



トラックボデー生産台数推移



決算の要旨(2016年度末)

貸借対照表

単位:百万円未満切り捨て

科　目	金　額	科　目	金　額
資産の部		負債の部	14,268
流動資産	13,615	流動負債	11,676
固定資産	7,118	固定負債	2,592
有形固定資産	5,203	純資産の部	6,465
無形固定資産	424	株主資本	5,965
投資その他の資産	1,490	評価・換算差額金	500
資産合計	20,734	負債純資産合計	20,734

損益計算書

単位:百万円未満切り捨て

科　目	金　額
売上高	30,897
売上原価	27,106
売上総利益	3,790
販売費及び一般管理費	2,314
営業利益	1,476
営業外利益	53
営業外費用	4
経常利益	1,525
特別利益	1
特別損失	4
税引前当期純利益	1,522
法人税等	423
当期純利益	1,098

事業紹介

大・中・小型のトラックボデーを開発・設計・製造・販売し、アフターサービスとしてリニューアル工事や部品販売を行っています。

トラックボデー生産

■大型車シリーズ

長距離、大量輸送に欠かせない大型シリーズです。積載量重視型、容積重視型、専用輸送型など、おすすめ仕様のほか、用途に合わせた最適ボデーをご提案いたします。

ドライバン

ハイスター・バン（ハイスライダー付）

冷凍バン

ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン

ハイスター・冷凍

ドライウイング

ハイウイングMAX

冷凍機付ウイング

ハイウイングMAXクール（冷凍機付）

冷凍ウイング

ハイウイング・コールド“S”

幌ウイング

ワンタッチ幌（手動式）

ブロック煽り

ハイブロック

■中型車シリーズ

配送から長距離輸送まで、あらゆるシーンで活躍する中型車シリーズです。軽量タイプや、おすすめ仕様のほか、用途に合わせたボデーをご提案いたします。

ドライバン

ハイスター・バン

冷凍バン

ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン

ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン

ハイスター・冷凍（床下格納式リフター付）

冷凍機付ウイング

ハイウイングMAXクール（冷凍機付）

ドライウイング

ハイウイングMAX

幌ウイング

ワンタッチ幌（手動式）

ブロック煽り

ハイブロック

■小型車シリーズ

市街区の集配から中・近距離輸送に最適、機敏な小型車シリーズです。

ドライバン

ハイスター・バン

フラットパネル冷凍バン

ハイスター・冷凍

ドライウイング

ハイウイングMAX

ブロック煽り

ハイブロック

リニューアル・部品販売

ボデーの載せ替え、キャブ・ボデー塗装、リア扉外板張替え、デザイン文字製作等や修理・ドレスアップ用の部品販売を行っています。

■ドレスアップ部品の一例

【アルミ製及びステンレス製サイドガード】

アルミ角パイプ型

ステンレス丸パイプ型

ステンレス角パイプ型

【煽り中間部ウイングロック】

オールステンレス製

BOX本体のみ
ステンレス製

商品開発

■新型ドライウイングの開発

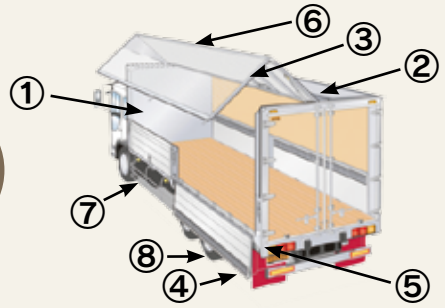
日野自動車製シャシのモデルチェンジに合わせて、軽量化を軸に大型・中型ドライウイングのモデルチェンジを行いました。大型・中型で約100kgの軽量化を実現し、積載量をアップしています。さらに中型は内寸高の改善も行い、その他、作業性・安全・品質面についても改良を行いました。

【新商品の特徴】

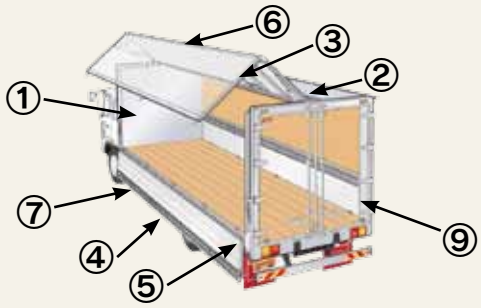
軽量化	● 大型：約100kgのボデー軽量化	①③⑦⑧
	● 中型：約75～85kgのボデー軽量化	①③⑦
内寸高	● 中型：＋20㎜アップ	②
安　全	● ルーフコーナーにLED式庫内灯を配置し、夜間のフォークリフト作業の安全性を向上	⑥
快適・便利	● ウイング開放時のスロースタート機能を標準化し、庫内への水滴侵入を低減	④
	● 油圧ユニットは外部から給油が可能	④
	● アルミ製サイドガードは床下メンテナンス時の脱着が容易	⑦
品　質	● アルミや樹脂を多用し、防錆力や外観の見栄えを向上	③⑦⑧⑨
	● ダブルセンタービームの拡大で羽根全体の強度向上	②
	● 防水力の高いウイングスイッチを採用し、寒冷地での結露耐性を向上	⑤

表内の丸で囲った数字は、次ページ図内の数字と連動しています。

大型



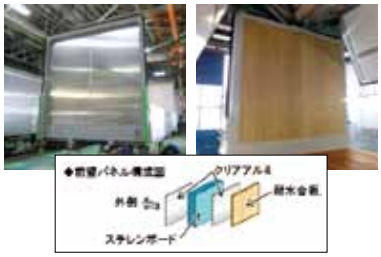
中型



①前壁サンドイッチパネル構造

大型・中型

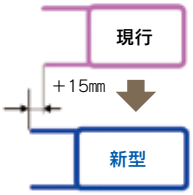
●サンドイッチパネル化により軽量化と面剛性アップ
●内張STD、内板の傷も容易に交換



②ダブルセンタービーム改良

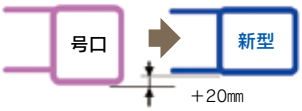
大型

●型材の断面面積を増やし羽根の剛性アップ



中型

●断面形状を扁平化し、内寸高+20mmアップ

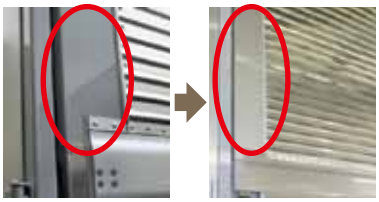


③サイドエンドピラー アルミ化

大型・中型

●アルミ型材製ピラーを全車標準採用
●軽量化及び転角改善
●防錆力、外観品質も向上

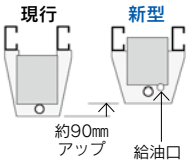
現行STD：スチール　新型STD：アルミ



④新型油圧ユニット

大型・中型

●給油口を外部に増設しメンテ性を向上
●横根太半埋込み化し床下の架装空域を確保



大型固有

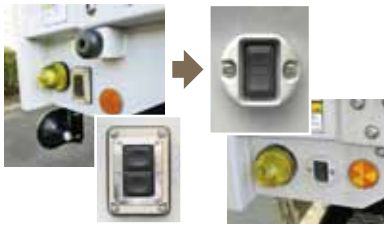
●スロースタート採用で庫内への水滴流入防止

⑤新型ウイング操作SW

大型・中型

●防水性と耐寒性に優れた操作SW採用
●SW周りにカバーを設置し、不用意な操作を防止

現行　新型



⑥ルーフコーナーLED式庫内灯

大型・中型

●LED式庫内灯をルーフコーナーに配置し、夜間作業で羽根を開けた時、ボデー床端部を照射することで、安全性を確保

現行

⑦拡大型アルミ製サイドバンパー

大型・中型

●アルミ化により軽量化及び防錆・外観品質向上
●断面拡大により、大型車は２段化

現行VQ：カスタマイズ　新型VQ：STD

⑧樹脂製ハ型フェンダー

大型

●欧州トレンドの樹脂製フェンダーを採用し、軽量化及び外観品質を向上
●フェンダー本体拡大で飛び石や雨・雪跳ねを抑制
●フラップ短縮でタイヤとの擦れ破損減少

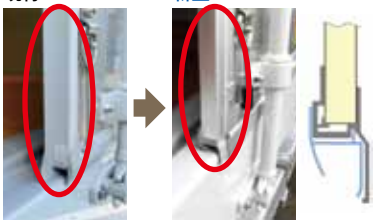
現行　新型

⑨リヤ扉アルミ型材枠

中型

●扉外周にアルミ型材枠を取付し、外観品質向上
●シールゴムを紫外線による劣化から保護

現行　新型



お客様

お役立ち活動

営業部門は本業であるボデー販売はもちろん、お客様の様々なご要望・お悩みにお応えし、お客様の本業の発展に少しでも貢献するため「お役立ち活動」を行なっています。「お役立ち活動」の一環で、お客様に当社の持つノウハウを盛り込んだ「お役立ちメニュー」を18種類ご用意し、より多くのお客様のお役に立てればと考えております。2016年度は全国のお客様に対し148回開催させていただきました。

【トランテックスお役立ちメニュー　一覧】

No.	項　　目	内　　容
1	冷凍バンの取扱いについて	予冷や庫内換気、日常点検等冷凍バンをお使いになる際の基本的な注意点をご説明します。
2	冷凍バンでの 品質管理について	冷凍バンに荷物を積む際の注意点及び荷台のコンディションを保つためのポイントをご説明します。
3	冷凍ボデーのメンテナンス	ボデー各部の点検要領や各部シールの補修方法など現車で実際に点検しながらご説明します。
4	冷凍車の商品知識	構造や仕様、商談のポイントをご説明します。
5	ウイングの取扱いについて	開閉操作や荷物の積み方など、ウイングをお使いになる際の基本的な注意点をご説明します。
6	ウイングへの 安全な荷積みについて	ウイング構造の特徴を紹介したうえで、構造的な要因から必要となる荷物を積み込む際の注意点をご説明します。
7	ウイングボデーの メンテナンス	各部の点検要領や油圧装置のメンテナンス方法を現車で実際に点検しながらご説明します。
8	ロールボックス輸送の注意点	種々の固定方法による荷台内でのロールボックス（ワゴン）の動きをビデオで紹介し、荷台への影響をご説明します。
9	車輌後退時の安全確認講習	バックミラーの死角やバックカメラのモニター映像の特性についてご説明します。
10	テールゲートの安全操作	事故事例を紹介しながら、操作する際の注意点、ゲート装着車の特性を説明します。また、ゲートを操作しながら、操作及び点検方法をご説明します。
11	荷卸し作業KYT	特に荷卸し作業をテーマとしてKYT基礎4ラウンド法によるグループ討議を行ないます。
12	TTS安全管理手法のご紹介	防災意識向上策や設備の点検方法など当社製造部で実施している様々な安全管理手法をご紹介します。
13	ラッシングベルト 使用時の注意点	ラッシングベルトの縛り方による積荷への影響、ベルトのメンテナンス方法をご説明します。
14	リヤボデー お手入れ方法のご提案	リアボデーの頑固な汚れを落とす各種洗剤等をご紹介します。
15	TTS改善事例のご紹介	トヨタ生産方式をベースにした作業の見直し方や省くべき作業の考え方と当社製造部の改善事例を用いて説明します。
16	乗務員様マナー研修	服装・挨拶・言葉遣いを実際の業務をロールプレイングで再現しながら説明します。
17	コンプライアンス講習	コンプライアンスの必要性や普段の業務においてどのような事に気をつけるべきかを事例を用いて説明します。
18	体調管理講習	運転に大きな影響がある睡眠・飲酒・肥満について自己診断方式や予防法をご説明します。

【お役立ち活動実施事例のご紹介】

【北陸営業所】

- 実施先：運送会社様
- 目的：安全意識の向上
- 実施内容：KYT手法による「日常業務問題解決」講習会
- 参加人数：24名
- 参加者の声

「乗務員同士が業務について話合うようになった」
「業務改善を依頼されていた荷主に講習会での成果を改善策として報告すると荷主先協力会の安全責任者に任命されて、講習も依頼されるようになった」

【東海営業所】

- 実施先：販売会社様
- 目的：スキルアップ
- 実施内容：ウイングの基本構造、羽根の開く仕組み、日常メンテ等の講習会全5回
- 参加人数：6名
- 参加者の声

「ウイングの構造、仕組みがよく分かった」
「ジョロダーの使い方がよく分かった」

【北関東営業所】

- 実施先：運送会社様
- 目的：スキルアップ
- 実施内容：冷凍バンの冷凍能力講習会 他2テーマ
- 参加人数：3名
- 参加者の声

「今まで冷気循環なんて気にしてなかった」
「冷蔵庫と冷凍車では考え方が全然違うのですね」

【首都圏営業所】

- 実施先：運送会社様
- 目的：安全意識向上
- 実施内容：テールゲートの操作講習会 他1テーマ
- 参加人数：4営業所67名
- 参加者の声

「ゲートに乗ったまま操作してはいけないと初めて知った」
「ラッシングベルトの使い方を間違えると荷物もボデーもダメにすることがわかった」

【中・四国営業所】

- 実施先：運送会社様
- 目的：スキルアップ
- 実施内容：ウイングボデーメンテナンス講習会
- 参加人数：8名
- 参加者の声

「センターシートの交換必要性がよく分かった」
「横根太の位置と積荷の配置を理解することで床割れを防げることが分かった」

【九州営業所】

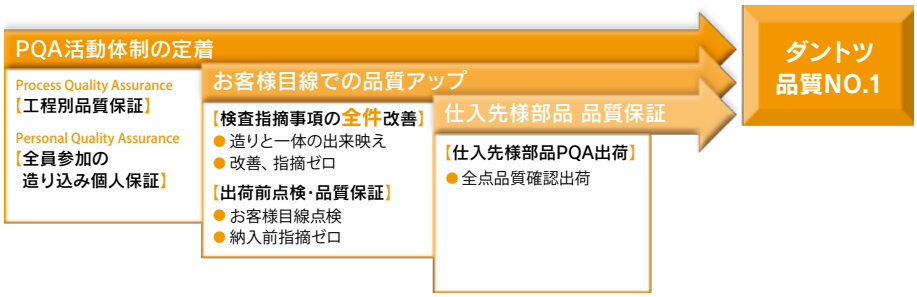
- 実施先：運送会社様
- 目的：業務効率アップ
- 実施内容：部品カタログ作成
- お客様の声

「今までは、内容によっては3回程度やり取りすることもあったが、１回で済むようになった」
「販社と部品カタログを見ながら注文が出来るようになって注文が簡単になった」

品質マネジメント

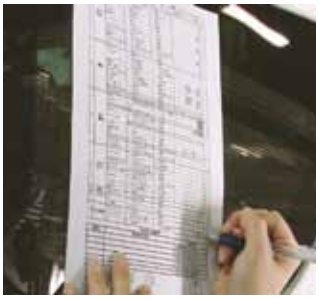
品質管理活動方針

当社では①PQA活動体制の定着、②お客様目線での品質アップ、③仕入先様部品品質保証の3点を具体的な取組み方針とした「ダントツ品質NO.1」を品質管理活動方針としています。



品質管理体制

工程別品質保証をベースに、毎日開催する前日の生産状況を振り返り対応課題の明確化等を行う稼動会議の中で品質上の課題についても関係者全員で共有しています。稼動会議には生産部門・生産管理部門・品質保証部門・開発部門の責任者が参加し、即座に対応方針や対応部署等を決定し、改善に向けた取り組みを開始します。また、月1回、全役員が参加する品質会議も開催し、重要品質問題の対応状況等についての意見交換も実施します。


工程別品質保証

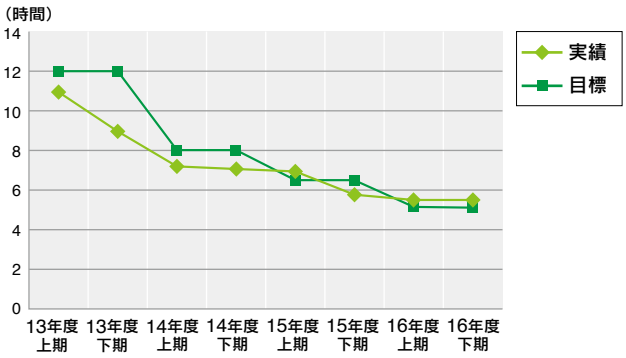
稼動会議

アフターサービス

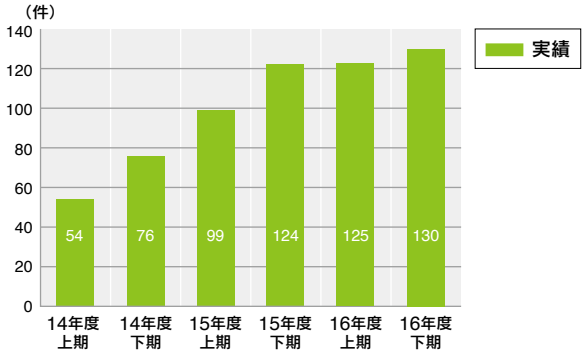
アフターサービスNO.1を目指して

サービス部門ではアフターサービスNO.１に向けて、お客様に商品をお届けした後もお客様の身近な存在として全国の販売会社様および全国160のＳＳ店様と連携しながら、すばやく正確な修理を実施し、お客様にご満足いただけるアフターサービスを目指しております。また、お客様に有事が発生した際の初動対応までに要した時間（ボデータッチタイム）や定期訪問数を数値化し活動のレベルアップに役立てています。

【初動対応タイムの推移】



【定期訪問件数】



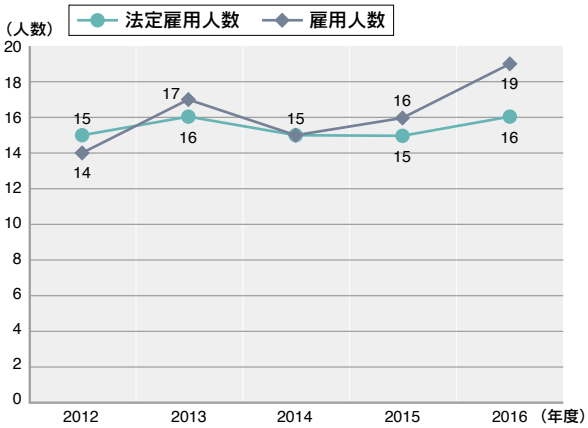
従業員

雇用促進

障害者雇用への取り組み

製造部門を中心に働きやすい環境整備を進め、積極的に障害者雇用を進めています。2016年度は19名の方（障害者法定雇用人数16名）を雇用させていただいておりますが、これからも一人でも多くの雇用・定着に繋がるようにハローワーク等のご支援を受けながら、取り組みを進めていきます。

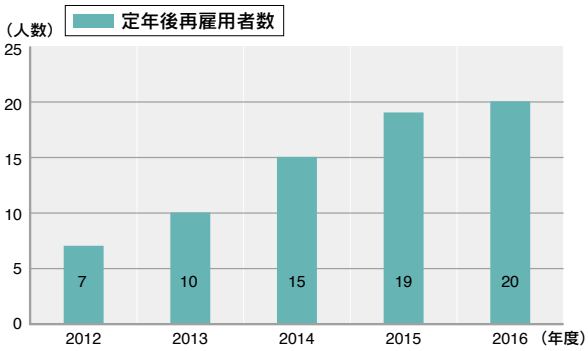
【障害者雇用人数の推移】



60歳定年後の再雇用への取り組み

当社の商品はお客様ごとにご注文内容が異なるため、製造・設計・販売等の各段階で品質維持向上に技術を習熟し経験を積み重ねた従業員を必要としています。また一方で、定年後でもこれまで培った技術・経験を活かして働きたいという方にも安心して働いていただける職場の整備も必要となっています。そこで当社では定年退職者の希望に沿って再雇用を進めています。2016年度は20名を再雇用しました。

【定年後再雇用者数の推移】



正社員登用への取り組み

多様な人材を様々な年代・経歴から採用するため、新卒採用・即戦力としての中途採用に加えて期間従業員の中から希望者と職場からの推薦者を対象とした正社員登用を積極的に進めております。2016年度は大卒・高卒を含めた新卒採用で44名（女性4名含む）、中途採用で2名、期間従業員の正社員登用で19名の採用を行いました。

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
新卒採用	21	18	20	21	44
中途採用	4	3	9	3	2
期間従業員の正社員登用	12	12	35	19	19

安全衛生

安全衛生への取組み

当社は「安全は全てに優先する」を安全衛生基本理念に掲げ、総括安全衛生管理者をトップに、産業医と連係しながら「人への安全意識向上」「快適職場環境づくりの推進」「心身の健康管理」「通勤災害の防止」の4つの観点から各種取組みを実施することで、自主自立の安全文化構築を進めています。

安全衛生基本理念

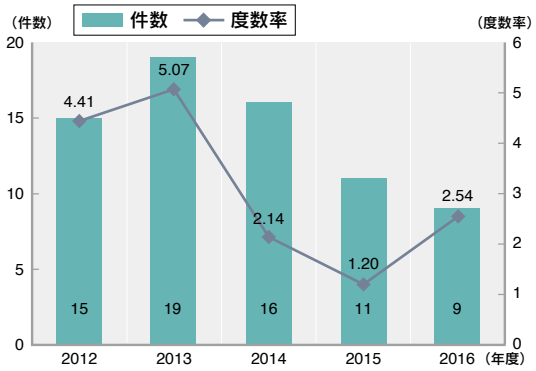
「安全は全てに優先する」

- 安全なくして、企業の発展なし
- ルールを守らずして、安全なし
- プロとしての自覚なくして、安全なし

【2016年度の主な活動】

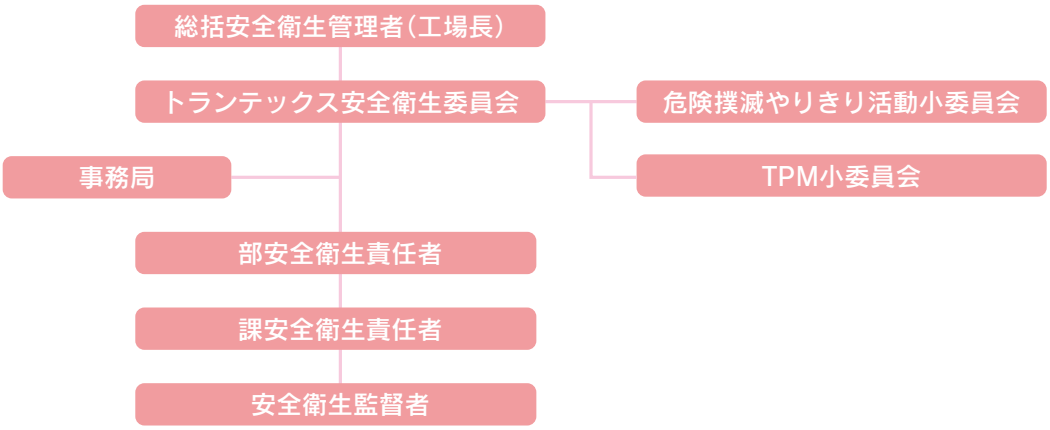
実施事項		関連頁
人への安全意識向上	危険撲滅やりきり活動の継続	P14
	安全パトロール強化による安全感度向上	–
	安全人間づくり	–
	車両接触防止	P14
	高所作業安全対策	P14
快適職場づくりの推進	熱中症対策の実施	–
心身の健康管理	定期健康診断結果に基づく健康指導	–
	ストレスチェックの実施	–
	健康知識の習得に向けた講演会開催	P14
通勤災害の防止	シートベルト、ヘルメット着用のチェック	–

【災害発生件数と度数率】



安全衛生組織

当社では安全衛生活動を円滑に進めるため、毎月開催している安全衛生委員会や、その補助組織として2つの小委員会を設置して、効率的かつ重点的に活動を推進しています。

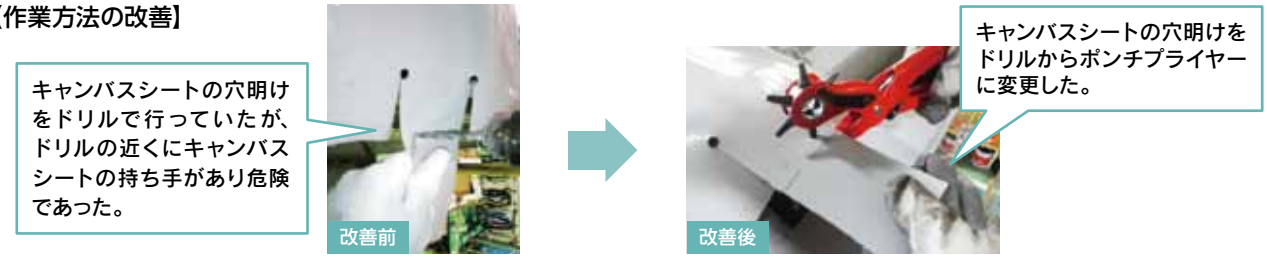


安全衛生活動事例

■危険撲滅やりきり活動

個人ごとに事故やケガにつながる可能性のある場所や作業内容等を洗い出し、危険度が一定レベルに下がるまで改善を実施する活動を実施しています。職場内に危険予知した内容と改善の進捗レベルを見える化することで、安全意識の向上と改善までのスピード感を維持するように心がけています。

【作業方法の改善】



■車両接触防止

生産量増加に伴い、構内車両の移動量も増加し、これまで以上に人と車両の接触事故の可能性が高くなりました。そのため、特に接触可能性が高いと思われる交差点付近を中心に、人車分離用のポールを設置し、歩行者および運転者への注意喚起を行っています。

人車分離ポール

■高所作業安全対策

高所作業安全対策の一環で、工場各所にある作業ピット上部に転落防止用のネットを設置しました。作業時以外はネットを張ることで、不注意による転落事故を防止しています。

落下防止ネット

安全関連の講演会開催

「全国安全週間」や「全国労働衛生週間」を利用して当社産業医・診察医による講演会を実施いたしました。役員・従業員および仕入先様の総勢約80名が聴講し、貴重な話に耳を傾けました。

安全衛生講演会

安全週間講演会

人材育成・労使関係

人材育成

階層別研修や製造・営業・開発の各部門別での研修を通じて知識習得やスキルアップを行い、様々な環境変化に対応できる人材育成を行っています。製造部門では工長・職長・指導員向けの研修に加えて、業務改善を担当するメンバーを中心にTPS研修を行い、社内改善の推進に活用しています。開発部門では継続的に実務のスキルアップ研修を実施しており、また、中堅社員を対象に対人スキル向上による職場全体のパフォーマンス向上に焦点を当てた研修も実施し、日々の意識の持ち方や考え方を見直すきっかけとしています。

製造部門 工長・職長研修

【2016年度に実施した主な研修内容】

階層別研修	新入社員研修・フォーアップ研修
部門別研修	製造部門 工長・職長集合研修
	製造部門 新任工長研修
	製造部門 新任職長研修
	製造部門 新任指導員研修
	製造部門 TPS研修
	営業部門 全体研修
	サービス担当者 スキルアップ研修
	開発部門 スキルアップ研修
	開発部門 中間層研修

開発部門 中間層研修

労使関係

トランテックスとトランテックス労働組合は定例の労使会議を持ち、様々な検討を重ね、労働条件の改善に努めています。また、労働組合側からの職場環境改善要求を通じて一歩ずつ改善を進めています。

環　境

環境マネジメント

環境基本方針

トランテックスは、地球環境の保全を経営における最重要課題の1つであるとの認識のもと、2003年10月、企業理念に基づく「トランテックス地球環境憲章」を制定し、環境保全活動を積極的に進めています。

■基本方針

1. 地球環境の保全を総合的かつ長期的に進める

地球環境問題は、重要かつ深刻であるとともに、自動車は広い範囲でこの問題に関わっているとの認識のもとに、全社を挙げて、仕入先等の関係者とも協力して、開発から生産、販売、使用、廃棄に至る全ての段階における環境への影響を考慮した環境保全のための対策を、長期的視点に立って推進する。

2. 地球環境の保全を広い視野で身近な行動から進める

豊かで住みよい地球をめざして、事業活動の範囲内だけでなく、社会においては良き市民として、地域社会においては良き隣人として、環境保全のための行動を進める。

■行動指針

1. 環境負荷のより小さい事業活動をめざす

- 工場・事業所の立地における環境への配慮
- 排出物を極力出さない生産活動
- 地球環境にやさしいトラックボデーの開発
- 省エネルギーと省資源、リサイクルの推進

2. 関係者と協力しながら進める

仕入先、関係会社等と協力し、事業活動の様々な段階において、また、事業所の内と外とにおいて、環境保全に努める。

3. 社会への貢献を心がける

社会においては良き市民として、また、地域社会においては良き隣人として、社会や地域における環境保全の諸活動に協力する。

4. 自己啓発を図る

社会に対して開かれた企業として、また、企業人であるとともに良き市民として、地球環境問題に関して広く社会に学び、会社ならびに社員ともに自己啓発を図る。

本社･工場環境方針

本社・工場では基本理念、トランテックス地球環境憲章及びトランテックス地球環境行動計画等を受けて、本社・工場の環境に与える影響（著しい環境影響）、関連法規、利害関係者との関係等を配慮し、継続的改善及び汚染の予防のための基本方針（行動原則）として、本社・工場環境方針を定めています。

トランテックスは、トラックボデーなどの開発・生産・販売・サービスを通じて、環境に与える影響を常に認識し、白山の豊かな自然や社会と調和する企業を目指して、全員参加で環境保全活動を推進します。

1. 私たちは、環境管理システムの効果的な運用と継続的改善をはかり、環境汚染の予防に努めます。

2. 私たちは、環境に関する法規制や私たちが守ると約束した協定・指針などを遵守し、社会とのつながりを大切にします。

3. 私たちは、環境への排出物や廃棄物を抑え、リサイクルを推進し、エネルギーや資源の効率的な利用を進めます。

4. 私たちは、環境に負荷を与える有害な物質の使用量を減らし、ライフサイクルを考慮した環境に優しい製品の開発を進め、提供します。

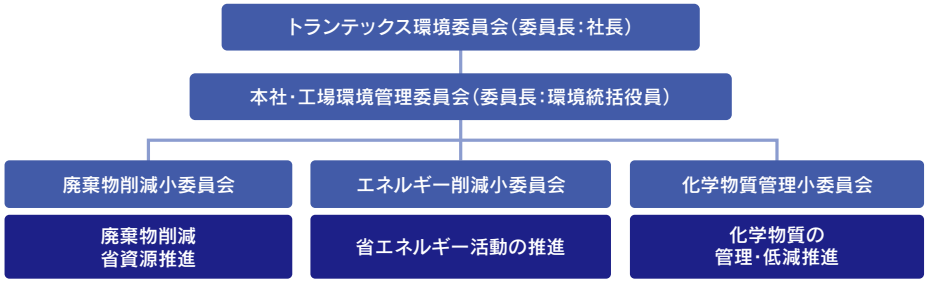
環境目標と実績

【2016年度環境活動実績】

項目	活動内容	活動実績	関連頁
環境保全と自然共生社会の構築	**生産活動における環境負荷物質の低減** **VOCの低減** ●VOC低減塗料の導入 項目：VOC原単位(g/㎡)　2016年度目標：103	●トルキシルフリー塗料の導入 2016年度実績：89.3　評価：○	P21
	自然共生社会構築に資する社会貢献活動の推進	●「クリーンビーチいしかわ」海岸清掃イベントに参加 ●本社工場周辺清掃活動の実施	P24
低炭素社会の構築	**生産活動における省エネ活動の徹底と温室効果ガス排出量の低減** **生産CO_2の低減** ●生産性改善による工場嫁動時間短縮 ●工場内設備の運用改善 項目：生産CO_2原単位(CO_2-ton/台)　2016年度目標：0.414	●工場部門を中心とした生産性改善 ●ボイラー運転設定の見直し 2016年度実績：0.339　評価：○	P21
	物流活動における輸送効率の追求とCO_2排出量の低減 **物流CO_2の低減** ●効率的な完成車輸送 項目：物流CO_2原単位(CO_2-千ton/トンキロ)　2016年度目標：0.0680	●効率的な完成車輸送の実施 2016年度実績：0.0671　評価：○	P21
循環型社会の構築	**生産・物流における排出物の低減と資源の有効利用** **廃棄物の低減** ●廃棄物の有価物処理化 項目：廃棄物CO_2原単位(ton/台)　2016年度目標：0.102	●廃プラスチック、廃シンナーの有価物処理継続 2016年度実績：0.099　評価：○	P21
	物流梱包包装材の低減 ●メール便活用 ●梱包材簡素化 項目：梱包材原単位(ton/百万円)　2016年度目標：0.0329	●メール便の積極的活用 ●梱包材簡素化の推進と徹底 2016年度実績：0.0319　評価：○	
	水使用量の低減 ●埋設配管漏水対応 ●工場内設備での水使用量低減 項目：水使用量原単位(㎥/台)　2016年度目標：17.8	●漏水ヶ所の修繕対応 ●ボイラー運転設定の見直し ●塗装工程での水使用量削減 2016年度実績：13.8　評価：○	
環境経営	**環境教育活動の充実と推進**	●各部署での教育実施	P20
	環境情報の積極的な開示とコミュニケーションの充実	●CSRレポート発行 ●近隣町内会役員の方を交えての地域懇談会開催 ●工場見学の受入れ	P24
	異常苦情ゼロ・リスクの最小化	●環境パトロールの定期実施 ●環境管理責任者（環境管理者）による定期パトロール ●対象環境リスクへ計画的な対応	P22
	環境マネジメント	●環境監査実施 ●環境コスト把握 ●PCB廃棄物の適正処理 ●地下水保全	P19・P20

マネジメント推進体制

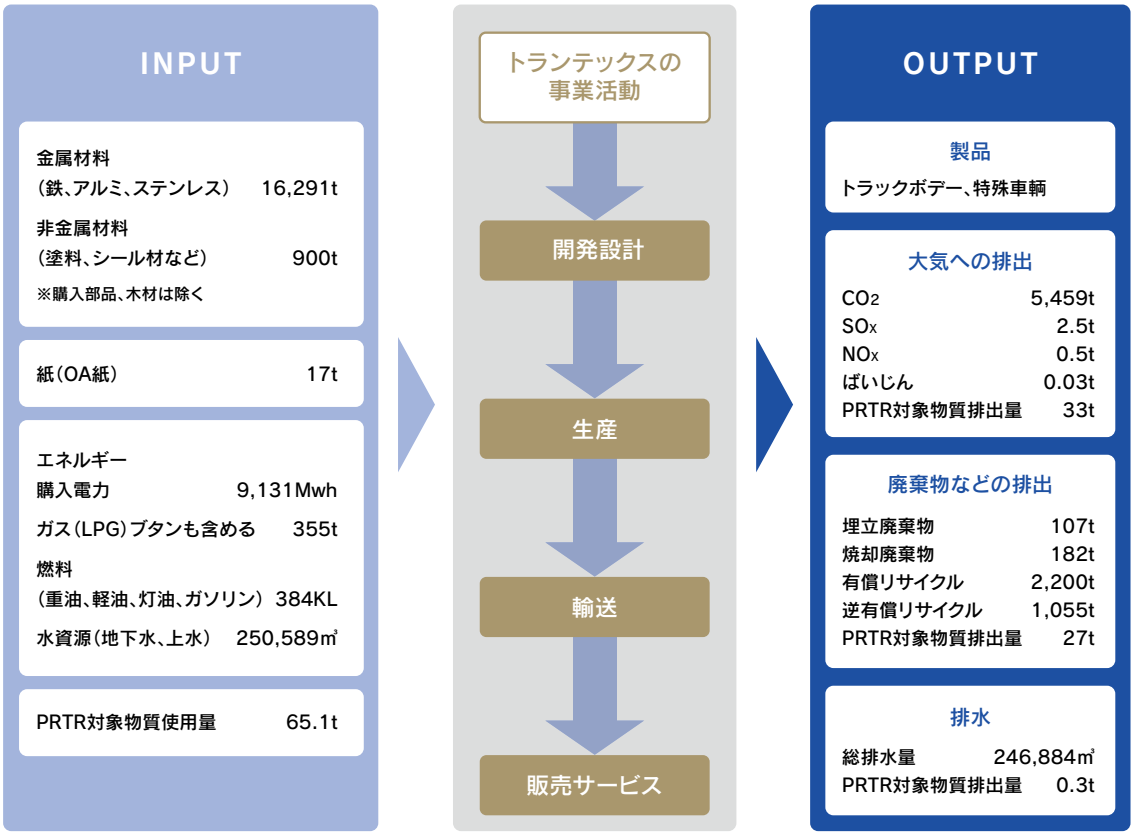
トランテックスは、環境保全を推進するため、全社的組織として社長を委員長とする「トランテックス環境委員会」を設置し、基本方針の決定と諸活動の総合推進を図っています。また、下部組織として本社・工場環境管理委員会と3つの専門委員会を設置し、本社・工場環境管理委員会は、原則毎月開催とし各種課題の進捗管理・検討・審議等を行なっております。また、3つの専門委員会は、事業活動による環境負荷の低減として大きな課題であるCO_2低減・VOCなどの化学物質低減・廃棄物低減などの個別の専門テーマに対して、部門横断的な視点からアプローチをしております。



事業活動と環境影響

事業活動における投入資源（インプット）と排出による環境負荷（アウトプット）を定量化し、環境への影響を把握して、環境負荷低減活動に活用しています。

【事業活動における2016年度の投入資源と環境への排出】



PRTR（Pollutant Release and Transfer Register）：有害化学物質排出・移動登録制度
SOx：硫黄酸化物　　NOx：窒素酸化物

環境保全コスト

環境保全コストおよび効果を定量的に把握し、環境保全活動に効果的かつ継続的に取り組むため、環境会計に取り組んでいます。尚、環境保全コストは①投資額は対象期間の投資のみとする、②経費の中に減価償却分は含めない、③環境保全以外の目的を含んでいる設備投資や費用については、環境対応分が明確に把握できるもののみ計上することとしました。環境保全対策にともなう経済効果については、把握可能な項目のみ集計しました。

【2016年度の環境コストの集計結果】

［単位：百万円］

		2014年度		2015年度		2016年度	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
事業エリア内コスト	公害防止コスト	114.6	8.6	21.1	6.3	31.7	7.6
	地球環境保全コスト	15.6	–	20.5	–	–	–
	資源循環コスト	8.4	74.3	–	73.8	–	89.3
	計	**138.6**	**82.9**	**41.6**	**80.1**	**31.7**	**96.9**
上・下流コスト		–	–	–	–	–	–
管理活動コスト	EMSの整備、運用	–	1	–	1.6	–	1.7
	環境測定	–	3.5	–	3.7	–	3.5
	従業員の教育	–	–	–	–	–	–
	景観保持	–	–	–	–	–	–
研究開発コスト		–	6.1	–	–	–	–
社会活動コスト		–	–	–	–	–	–
環境損傷対応コスト		–	–	–	–	–	–
合　計		**138.6**	**93.5**	**41.6**	**85.4**	**31.7**	**102.1**

【2016年度の経済効果の集計結果】

［単位：百万円（－は十万円未満）］

経済効果	2014年度	2015年度	2016年度
リサイクルによる事業収入	88.9	56.4	57.3
省エネルギーによるエネルギー費の節減	1.2	3.8	–
省資源又はリサイクルに伴う廃棄物処理費の削減	–	14.5	–

【2016年度の物流効果の集計結果】

［単位：百万円（－は十万円未満）］

物流効果	2014年度	2015年度	2016年度
二酸化炭素（t-CO_2）	–	33.4	160.5
廃棄物総排出量低減（t）	–	345	175
PRTR対象物質排出量・移動量削減（t）	–	–	2.3

環境監査

環境マネジメントシステムの適合性・有効性を客観的に評価するため環境内部監査を行い、監査で取り上げれらた事項はマネジメントシステム改善のために活用しています。また、国際システム審査株式会社に外部審査を委託し、第3者の立場で評価をいただいております。2016年度は再認証審査を実施し、当社のマネジメントシステムはISO14001の要求事項に引き続き適合しているとの評価をいただきました。

内部監査

環境教育・訓練

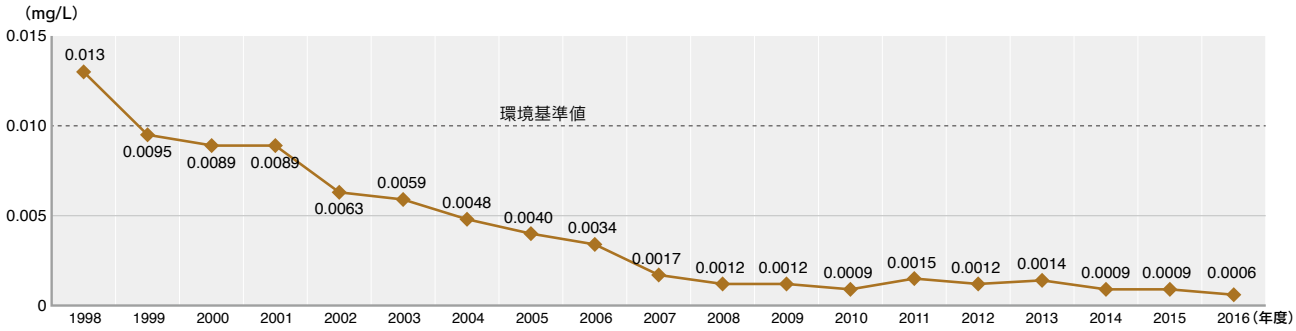
環境事故は環境汚染につながるだけでなく、近隣住民の方々や生産活動にも大きな影響を及ぼす可能性があることを再確認するため、各職場単位で毎年、環境教育・訓練を実施しています。これからも継続的に実施し、環境意識の高い職場作りを進めていきます。

PCB廃棄物の保管と処理

2016年度は高濃度PCB含有の蛍光灯安定器および高濃度PCB汚染物の処理を行いました。また、微量PCBが含有した廃棄物についても適正に保管し、国の処理認定を受けた処理業者様に計画的に依頼し、処理を行う予定です。

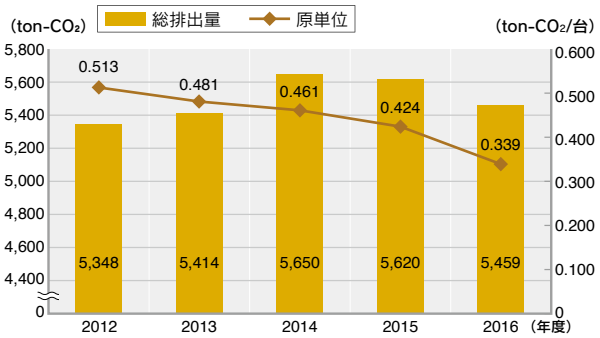
地下水保全への取り組み

当社では、過去に有機塩素系化合物であるテトラクロロエチレンを使用しており、1996年に使用を全廃致しましたが1998年に本社・工場敷地内の1ヶ所で環境基準を上廻るレベルが確認されました。1998年以降行政指導の下、積極的に浄化対策を進めており、土壌内の汚染ガスの吸引及び地下水揚水による浄化対策の結果、濃度は低位で安定しております。

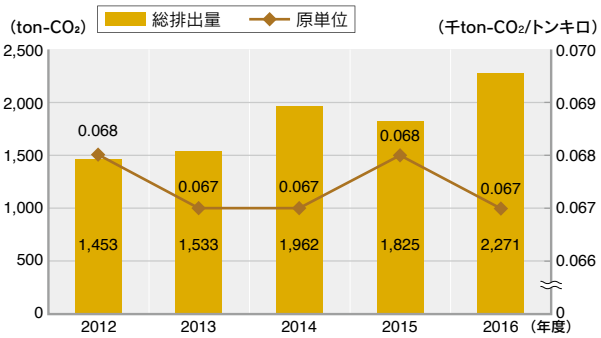


環境パフォーマンスデータ

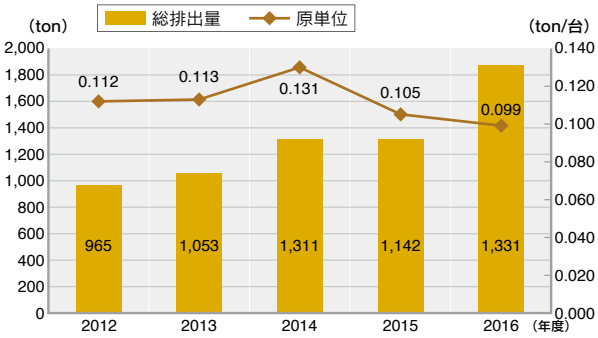
【生産CO_2】



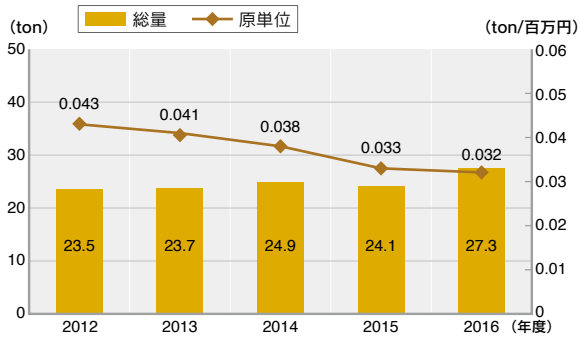
【物流CO_2】



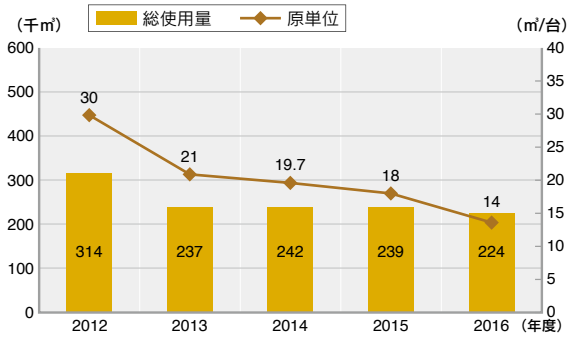
【廃棄物】※1



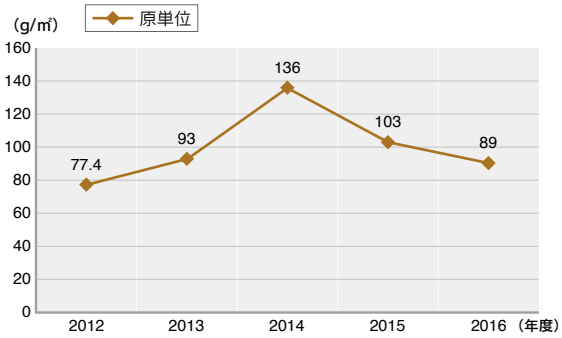
【物流梱包包装資材】



【水使用量】



【VOC】※2



※1
廃棄物＝逆有償リサイクル＋焼却＋埋立

※2
VOC(Volatile Organic Compounds)：揮発性有機化合物

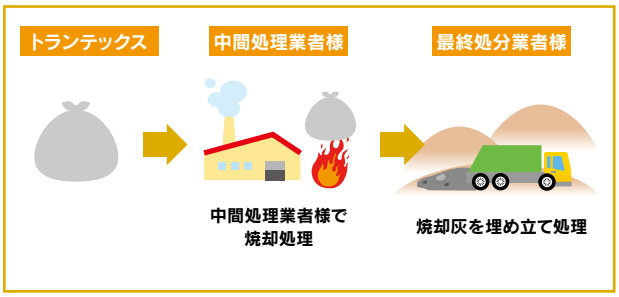
省資源・環境リスク低減

リサイクル・省資源

塗装養生紙の処理方法変更

塗装養生紙は塗料の付着分があるため紙素材へのマテリアルリサイクルができず焼却処理を行ってきましたが、お取引様のご協力をいただき固形燃料のRPF（Refuse Paper & Plastic Fuel）としてサーマルリサイクルにシフトすることができました。これからも環境負荷の少ない処理を積極的に進めていきます。

【従来の処理】



【変更後の処理】

環境リスク低減活動

環境及び周辺住民の方々への配慮のもと、環境リスクの抽出と改善を行っています。2016年度は2015年度に引き続き敷地外への複数の雨水放流口のうち1ヶ所について水門を設置し、異常排水流入時の社外への遮断ができるようにしました。また、各工程から排出された鉄屑は構内収集場所でコンクリート床面への直置きをしていましたが、社外搬出時の積込み音や積込み作業による床面損傷が起きた際の油分地下浸透を防止するため、鉄製コンテナで収集保管し、コンテナのまま社外搬出するように改めました。

【水門の設置】

緊急遮断用の水門

水門付近には転落防止用の策も設置

【鉄屑のコンテナ収集】

改善前は鉄屑を直置保管

改善後は鉄屑を鉄製コンテナ保管

調　達

基本的な考え方

当社は当社の製品が業界トップの位置を確保できるよう、仕入先の皆様と協力して、ともに発展していくことをめざしています。仕入先様には、コスト・品質・納期の最高レベル実現に向けた調達方針を提示するとともに公正な取引の維持を心がけています。

仕入先様との交流

当社では毎月、仕入先様と仕入先会議を開催し、生産計画の情報提供と品質アップのための仕入先様による品質改善事例発表会を行っています。その他、工場内外での交通ルールの遵守やマナー向上の呼びかけなど、地域社会との共生に係わることについても展開を行っています。

また、毎年1回、仕入先総会を開催し、当社の年度方針・調達方針をお伝えし、情報の共有を行っています。また年間を通じて原価改善活動や品質管理活動にご功績をあげていただきました仕入先様を表彰させていただいております。

会議の様子

受賞者の皆様

調達方針

当社の商品が、最高の価格競争力を確保できるように、広く世界に門戸を開き、最適な仕入先を選定することにより、

1. ミニマムな価格
2. 最高の品質
3. タイムリーな納期

を実現し、商品の拡販と当社の収益拡大に貢献する。

社会貢献活動

地域懇談会の開催

毎年、近隣町内会の役員様にお越しいただき、地域懇談会を開催しています。事業・業況紹介や工場見学を通じて、当社への理解を深めていただくとともに、ご参加いただいた方々からも忌憚のない意見をいただくことで、近隣の方々への環境配慮への取組みの参考にさせていただいております。

意見交換

工場見学

海岸清掃活動

石川県海岸全域の清掃活動「クリーンビーチいしかわ in はくさん」に参加しました。通算6回目の参加となりましたが、当日は天候にも恵まれ、従業員やご家族も含め総勢約130名が参加しました。今後もこのような地域イベントへの積極的な参加を続け、環境美化に貢献していきたいと考えております。

会社見学の受入れ

小学校・高等学校・各種団体様で合計14回、約700名の方が会社見学にお越しになりました。小学生は社会科学習での「ものづくり」を実際に学ぶ機会として、高校生は製造業で働くという職業観を養う機会として、また、各種団体様は様々な学習目的の一環としてご利用いただいております。これからもご来社いただく方々のご一助となれますよう、積極的に取り組んでまいります。

質疑応答

工場周辺清掃活動

本社工場周辺道路を中心に、毎月1回清掃活動を行なっています。勤務時間前の30分程度の時間を利用しており、毎回、多くの従業員が参加しています。近隣の美化に貢献させていただくだけでなく、従業員のボランティア意識の向上にもつながっており、引き続き実施していきたいと考えております。

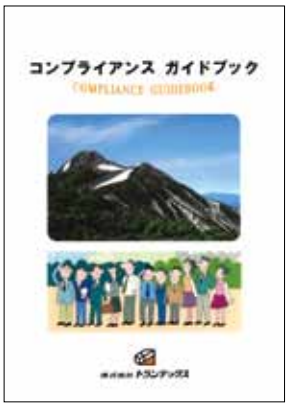
コンプライアンス

当社ではコンプライアンスの実践を経営の重要課題と考えており、全社的なコンプライアンス風土醸成に向けた取組みを継続的に実施することで、あらゆる場面で公正な判断・活動ができる企業集団を目指していきます。

「トランテックス行動指針」

「トランテックス行動指針」は、基本理念の内容を受けて、各ステークホルダーの皆様の期待に応えるために「社員一人ひとりがどう行動すべきなのか」を具体的に明記した内容となっております。

私たちは、この「トランテックス行動指針」を日々の仕事の手引書として活用し、また合わせてコンプライアンスガイドブックを活用することで、法令順守を徹底していきます。そして、各ステークホルダーの皆様の期待にお応えしてきます。



コンプライアンス教育

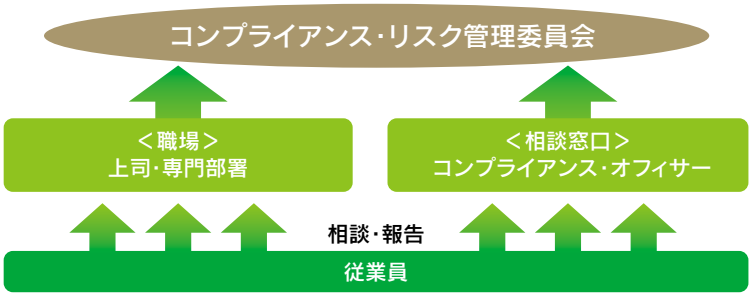
役員・管理職を対象としたコンプライアンスに関する講演会を開催し、お客様や社会の信頼を裏切り社会の安全を脅かすような重大コンプライアンス問題の予防と、最近のコンプライアンス問題の傾向と予防について理解を深めました。また、全従業員対象にもコンプライアンスの重要性についての勉強会を実施しました。今後も継続してコンプライアンス教育を実施し、コンプライアンス違反が発生しない、職場作りを行っていきます。

コンプライアンス講演会

コンプライアンス相談窓口

従業員がコンプライアンスに関する問題に遭遇した場合、職場を補完する相談先として、コンプライアンスオフィサーを設置し、社内への周知を図っています。従業員は直通の電話またはE-mailにてコンプライアンスオフィサーに直接相談・報告することができます。また、日野グループとして、外部の法律事務所への相談窓口も設けられています。

【参考：従業員の相談・報告ルート】



コーポレートガバナンス

当社は基本理念に基づき、各ステークホルダーの皆さまの期待と信頼に応えるため、コーポレートガバナンスの強化を経営の最重要課題と考えております。具体的には経営の透明性を確保するため、株主総会・取締役会・監査役協議会・会計監査人等の機関設置を行い、また迅速な環境変化への対応と意思決定を図るため、経営判断に基づく業務執行レベルの判断を行う執行役員会を毎週開催するなどの体制を構築しております。

取締役会

会社法で定める重要事項や経営に係わる重要事項の審議決定機関として、原則毎月1回開催しています。また、取締役の任期は、経営責任を明確にするため1年とし、非常勤取締役を1名選任しております。

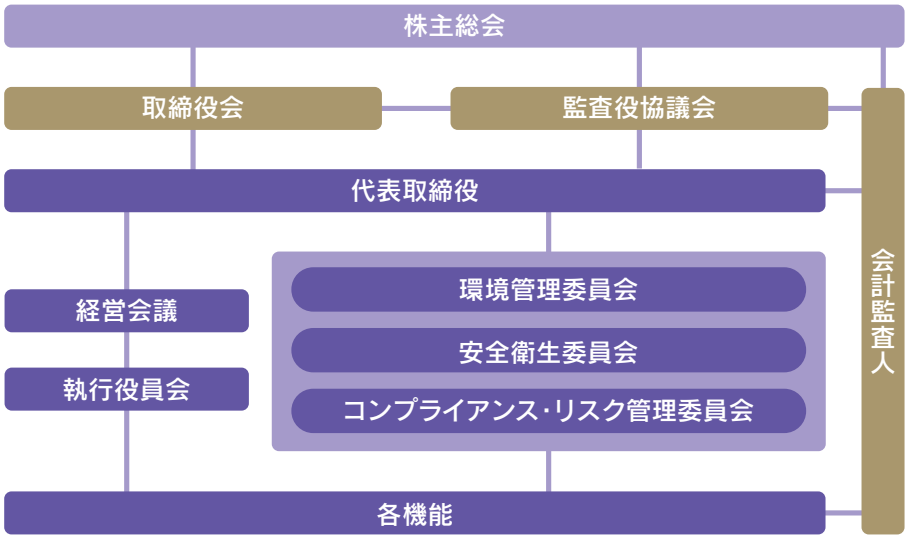
監査役協議会

取締役会の監督機能をより強化するため、常勤監査役以外に2名の非常勤監査役を選任しております。

会計監査人

2016年度はあらた監査法人を選任いたしました。

【コーポレートガバナンス体制図】



編集にあたって

本レポートは、当社を取り巻くステークホルダーの皆様に当社の活動を深く理解していただき、さらなる信頼をいただくことを目的としています。お読みいただいた皆様とのコミュニケーションツールとして、わかりやすく表現するよう心がけました。

対象範囲・対象期間

原則として2016年度（2016年4月～2017年3月）の実績や取り組みを対象としております。但し、一部の内容については、本レポート発行直前までの活動も記載しています。

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン（2012年度版）」を参考にし、編集しています。

Corporate Social Responsibility
Report 2017

本報告書の内容や当社の環境への取組みなどについて、ご意見、ご質問などがございましたら、下記までお問合せください。

株式会社 トランテックス 総務・人事部

〒924-8580　石川県白山市徳丸町670番地
TEL(076)274-2806　FAX(076)274-8191

ホームページアドレス　http//www.trantechs.co.jp/

発行日　2017年 11月

※この報告書はトランテックスホームページ上でもご覧いただけます。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK™ Trademark of American Soybean Association